

だいち

6月号
2023

特集
JA松山市の自己改革



エダマメ降れ降れ、
もおっと降れ〜♪



耕そう、大地と地域の未来。

 JA松山市

JAを
もっと
身近に



枝つきを選ぼう！

エダマメのあれこれ

＜＜＜ 栄養 ＞＞＞

美肌に役立つといわれているイソフラボンや、疲労回復が期待できるビタミン類など、多くの栄養が含まれています。

＜＜＜ 旬 ＞＞＞

JA松山市管内の出荷時期は、5月下旬から9月中旬です。

＜＜＜ 選び方 ＞＞＞

サヤの色が鮮やかな緑色で、マメがふっくらと均一に並んでいるものを選びましょう。

＜＜＜ 調理のコツ ＞＞＞

サヤの端を切り、多めの塩でもみ、うぶ毛を落としてしばらく放置します。沸騰したお湯で固ゆでし、自然に冷まします。

泰牙佳

表紙の子ども

てんま

パワフル3兄弟!!

滝野泰雅くん(11)と天馬くん(7)、剣悠くん(5)は、とっても元気な3兄弟です!!

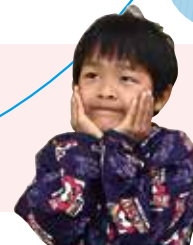
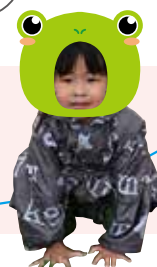
お兄ちゃんの泰雅くんは毎日サッカーの練習を頑張っています🏆将来の夢はインiesta選手のような世界で通用するサッカー選手になることです!

天馬くんは空手を習っていて、学校では算数や体育の教科が大好きです💖将来は空手選手になりたいです!

仮面ライダーになるのが夢という剣悠くんは、ママのことが大好き♡天馬くんといっしょにおばあちゃんの家の畑でトカゲを捕まえるのが得意です🦎

ケロ♡

しんゆう



2023 6 CONTENTS

特集 04 JA松山市の自己改革

20 I♡農
共同作業で久万茶守り続ける

19 カリスマ指導員のたのし〜農！
パンパンに実が入った枝豆をつくろう！

23 いただきます旬

10 ぎゅっとNews
・匠の技術を次代へ継承
・消費者に安心・安全を届ける！

13 7月やさい・おこめ・かんぎつの時間

18 なるほど！農政のおはなし
食料・農業・農村基本法のポイント「食料の輸入リスク」

22 みんなで俳句
野菜のふしぎクイズ

23 インフォメーション

24 家族のものがたり



リーダーが考えるSDGs

農業収入だけでは子育てが難しい現実

JA青壮年部は、農業の担い手を主とする組織です。現在問題となっているのは、農業資材の高騰です。農産物価格は、農業資材等の値上がり分を販売価格に反映できる仕組みはなく、市場価格つまり、需要と供給のバランスにゆだねられているのが現状です。そのため、再生産できない価格で取引されることも多く、農業収入で生活できない人も増えています。

農業は国の基であり、国民の食を支えるのはもちろん、農地を維持することで国土が守られていると言えます。最近の不安定な国際情勢の中で、食料安全保障の面でもこれ以上農業が衰退することは近い将来大変な状況を招くのではと懸念しています。JA青壮年部の盟友が一致団結して国や行政に強く働きかけ、農業収入だけで生活し、子育てができる持続可能な農業を実現していきたいです。



じゃがいもの収穫をする西岡さん



青壮年部委員長 兼 理事
西岡 洋司



SDGs (エスディージーズ) とは、
国連サミットで採択された国際社会
共通の持続可能な開発目標です。





JA松山市は「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を実現するために、自己改革に取り組んでいます。昨年度までの3ヶ年の自己改革の成果や課題と、それを踏まえて掲げた2023年から2025年度にかけての目標をご紹介します。

2020～2022年度

自己改革でココが変わりました



将来を見据えた農業者の育成と支援の継続 ○…達成 △…あともう一步

取組事項	目標	成果	3ヶ年の成果や課題
1、担い手経営体（認定農業者・農業生産法人・集落営農組織）の育成と拡大 2、新規就農者の育成・指導の継続 3、主要品目における新規栽培者の募集と既存栽培者の規模拡大 4、農作業支援の拡大や経営体（法人等）に対する経営支援の強化	担い手経営体数の増大 担い手経営体数 340	担い手経営体数 369(108.5%)	認定農業者は2019年度より44人増加して349人、農業生産法人は20法人で、合計した担い手経営体数は369経営体となりました。 担い手経営体への経営支援として、農事組合法人4法人への会計業務支援を継続しました。
	JAが行政や農業生産法人・生産部会組織それぞれと連携し、新規就農者の育成を強化	○	農業生産法人（サンファーム）との連携により3年間でイチゴの研修生9名、久万高原農業公社との連携でトマトの研修生17名に営農指導を行いました。そのうち、2022年度にトマト栽培研修生2名が新規就農しました。また、2022年度より新規就農研修センターを設置し、研修生1名が研修中です。研修中から農業生産法人・行政・生産部会と連携し、円滑な就農に向けて農地や栽培施設取得などの支援を実施しました。
	地域や農家の情報、農業塾により新規就農者や新規栽培者を掘り起こし、栽培推進	○	生産部会との連携や栽培説明会の実施などによって3年間で、新規就農者10名、新規栽培者87名を確保することができました。
	マルチャー支援やヘリ防除の継続	○	無人ヘリ防除については3年間で、麦105.27ha・水稲968.8haの防除を行いました。また、ドローン1機を取得し、無人ヘリで防除が難しい圃場での農薬散布実証を行いました。 マルチャー作業支援については3年間で、レタス・蚕豆・枝豆・花きで、283件・24.43ha、レタスのトンネル杭打ちでは、8件・1.72haの作業支援を行い、労力軽減および栽培面積の維持を図ることができました。
	農業者や担い手経営体への金融支援	○	3年間で延べ94件、1億8,593万円の農業資金の新規貸出を行うことができました。 JAバンクえひめの応援プログラム等も活用しながら、農業者や担い手経営体に対して金融支援を継続します。

安定した農業所得確保への取り組み強化

取組事項	目標	成果	3ヶ年の成果や課題
1、営農指導員の適切な経営指導により、年間を通して収入のある農家の増大 2、契約販売や値決め販売による単価の安定や底上げ 3、農産物直販所（産直市・松山生協）の活性化による取扱高の拡大	JA出荷者の要望に応える栽培や農業経営指導の充実	○	2019年度から導入した「品目担当指導員」「地域担当指導員」「営農相談員」の体制は継続し、JA出荷者へ栽培技術や選別荷造、経営指導を行いました。 経験の浅い営農指導員のレベルアップのため、再雇用職員やベテラン職員との同行訪問を実施し、出向く営農指導体制を整え、個別農家への栽培指導を強化しました。
	農の匠による技術伝承	○	生産部会員へ優れた栽培技術を伝承する「農の匠」事業は、6品目（松山長ナス・トマト・ピーマン・レタス・蚕豆・柑橘）で実施しました。各品目計11名体制にて、現地巡回指導や栽培講習会を3年間で58回行い、部会員からも好評で経験の浅い生産者の栽培技術の底上げにつながっています。
	品目別選任販売担当者による市場との連携強化により販売単価の向上	○	2020年度より品目別販売担当者を配置し、市場との連携・情報交換を強化し販売単価の底上げにつなげました。 トップセールスを含め対面販売でのPRができない中で、ミニのぼり・チラシ等の販促グッズを作成しwithコロナに対応した販促活動に取り組んでいます。出荷者の減少や厳しい輸送環境の中で、効率的な集出荷体制の構築と輸送方法の見直しを行い、有利販売につなげます。
	農産物直売所 出荷者 1,000名 取扱高 3億1,000万円	出荷者数918名 (91.8%) 取扱高3億212万円	ふれあい産直市福音寺と松山生協生産者コーナー合計の出荷者は918名、取扱高は3億212万円となりました。取扱高は、ふれあい産直市福音寺が前年度より700万円増加し、松山生協生産者コーナーと合わせた目標に対し97.5%の達成率となりました。2021年度に発足した「ふれあい産直市部会」を土台に直売所販売のさらなる強化に取り組みます。



農作物の産地振興

取組事項	目標	成果	3ヶ年の成果や課題
1、生産部会組織の活性化による基幹作物の維持・拡大	作付面積1,500ha (穀類・園芸・花き・果樹)	作付面積 1,455ha (96.3%)	農業者の高齢化や後継者不足により生産農家数や生産面積が減少する中、作付面積は1445.1haの実績となりました。県推奨の水稻品種である「ひめの凜」は昨年より12.0ha増加の28.4ha、飼料用米多収性品種「媛育71号」は6.0haでの作付け、麦類に関しては、はだか麦が289.0ha、小麦が32.8haとなり面積を維持することができましたが、園芸・花きとも作付面積は減少、果樹は作付面積現状維持の中、高単価な品種にシフトしています。
2、各部会が中心となり品目ごとに収量向上と品質改善を実現する	品目ごとの収量向上と品質改善を実現		生産部会員の圃場で、初期生育の安定と収量・食味の向上、コスト削減を目的として、品種・肥料・農薬等の実証栽培に取り組みました。 関係機関と連携して品種試験・農薬試験を実施し、生育および収量調査の結果を基に次期作に向けて栽培指針の検討、改善に取り組みしました。
3、産地振興の基礎となる高品質な苗の安定提供	移植苗・定植苗の供給量拡大と農家の要望に応える苗質の実現		生産者の要望に応える高品質の移植苗・定植苗の安定供給を行うことができました。部会苗(トマト・ピーマン・松山長ナス・イチゴ)33.3万本、葉菜類7.8ha分を供給しました。しかし、部会の栽培面積の減少により供給量は低下し、3年間では、部会苗99万本、葉菜類29.2ha分の供給となりました。

農家の生産資材コスト低減への支援

取組事項	目標	成果	3ヶ年の成果や課題
1、JAと生産部会組織の連携強化による生産資材の予約率向上	肥料・農薬 予約率70%	予約率 71.2% (101.7%)	予約肥料・農薬の値引きの継続と、生産部会組織との連携によって肥料・農薬の予約率向上に取り組んだ結果、2022年度は2019年度の53.3%から大きく予約率を向上させることができました。
2、予約肥料・農薬の支所での引取りに対する値引きの継続と大口取引者への奨励対策の継続	引取りの場合、 予約肥料・農薬の 価格値引継続		肥料高騰に対する支援として予約肥料・農薬の引取値引きを8%から10%に変更しました。 店舗再編を行った地域においても、JA施設を利用して予約購買品の引き取りを継続し、農家の利便性を確保しました。
3、購買事業の効率化を図り、農家訪問による適切な資材推進により予約率の向上を図る	大口取引者に対する 奨励対策の継続		今年度は肥料高騰に伴う値引き対策として予約肥料・農薬の値引き率を上げたことにより、大口取引者に対する奨励は実施しませんでした。
	RPAの運用による 購買担当者の農家 訪問の拡大		各所場からFAXで行われていた仕入発注を2023年1月からRPAを活用することにより事務処理の軽減を行いました。

地域とのつながりを強化

取組事項	目標	成果	3ヶ年の成果や課題
1、JAと地域、農家と地域住民をつなぐ幅広い世代への広報活動	メディアを活用した 広範囲で効果的な 情報の発信		2020年に始めた動画配信は、人員不足・コロナ禍によりコンスタントに配信ができなくなり中止しましたが、2021年度より広報誌「だいち」の一部准組合員への配布を始めました。また、コロナ禍でもマスコミ各社へのプレスリリースを継続し、新聞やテレビで情報を発信しました。
2、地域コミュニティの活性化を図るため各種イベントを開催	年5回以上の体験 型イベントを実施	年7回の イベント実施 (140.0%)	ふれあい部では、コロナ禍で制約はあったものの、屋外で行う「食とエコの子ども学級」を開催したほか、松山市内の小学生を対象に、産地での収穫体験や集荷場見学などを行う「久万高原満喫親子バスツアー」を新たに企画実施しました。 共済部では、こども倶楽部会員に多肉植物寄せ植えイベントや産前産後の母親対象バランスボールエクササイズを開催しました。また、地域住民を対象とした野球教室、赤ちゃんハイハイレース、子育てフェスタ等、多種多様のイベントを開催し、新型コロナウイルス自粛ムードの解消に努めました。
3、移動金融店舗車・移動販売車の定期運行	移動金融店舗車・ 移動販売車の 定期運行継続		移動金融店舗車の運行は2地区から3地区へ変更し、地域利用者の利便性に努めてきましたが、1日当たりの利用者数の減少など、運行については適宜変更していくことも考えています。 移動販売車については、ある一定の利用・売り上げも保っており、引き続き定期運行の継続が必要と考えます。 また、久万管内において現在、移動販売車2台で運行しており、年間で延べ1万6,122人の利用がありました。次年度は支所再編による店舗廃止地区への利便性向上のため、1台増車し3台体制での運行を検討しています。



地域に欠かせない多様な担い手の育成を!

持続可能な農業の実現に向けて、社会情勢やJAを取り巻く環境をふまえ、新たな工程表を策定いたしました。今後は、認定農業者や農業法人、集落営農組織だけでなく、小規模農家や兼業農家を含めた多様な担い手を育成することと新規就農者を確保することが、地域農業の維持には欠かせません。

化学肥料の高騰に対しては、今年度も独自に予約肥料・農薬の値引き対応を継続しており、これを多くの組合員に活用いただくことが、農家の経営支援につながると考えております。肥料・農薬の予約率を向上させるために、購買処理にAI事務機器を導入することで、時間に余裕のできる職員が積極的に農家を訪問し、情報提供に努めます。

基本方針

「将来にわたり安全・安心な農畜産物を消費者へ提供できる、持続可能な農業を実現する」ことを基本とし、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を具現化します。

重点目標

1. 行政や関係機関と一体となり小規模農家を含む多様な担い手や新規就農者の育成と確保。
2. 安定した農業所得確保に向け、営農指導体制の充実と販売力強化により農畜産物販売高を維持。
3. 地域特性を活かした基幹作物の維持拡大と産地づくりを強化。

地域別基幹作物

都市部:松山長なす・松山一寸そらまめ・白葱・キャベツ・イチゴ・直販品

平野部:米・裸麦・レタス・枝豆・白葱・イチゴ・新テッポウユリ・畜産

島しょ部:温州みかん・中晩柑(イヨカン・紅まどんな・せとか・甘平など)・レモン

中山間部:久万高原清流米・トマト・ピーマン・大根・畜産

4. 生産資材コストの低減を進める。
5. JAの総合事業を活かして、地域とのつながりを強化。



2022年度より組合員を対象にモニター制度を導入しました



今年1月に「まつやま農林水産物ブランド」に認定された興居島レモン



2022年10月にバリアフリー化し、棚も取りやすいようリニューアルしました

3年後の姿

- ・ 農畜産物販売高 24億7千万円
内 受託販売取扱高16億2千万円・独自米販売高5億4千万円・産直市3億1千万円

（ 2022年度実績 農産物販売高25億6千万円
うち 受託販売取扱高16億7千万円・独自米販売高5億9千万円・農産物産直市
販売高3億212万円（産直市出荷者918名） ）

- ・ 農家や経営体の数3,476
（2022年度実績 農家や経営体の数3,301）
- ・ 生産資材（肥料・農薬）の予約率74%
（2022年度実績 71.2%）

トップのこたば



将来にわたって必要とされる組織へ

代表理事組合長 阿部 和孝

2020年からの社会活動は新型コロナウイルス感染症に翻弄され、経済や国民生活に大きな影響を及ぼしました。当JAの事業も行動制限の状況が続き、事業運営は非常に厳しいものとなりました。

こうした情勢のなか、将来にわたって必要とされる組織として、安全・安心な農畜産物を消費者へ提供できる持続可能な農業を実現することを基本とし、「自己改革工程表」を策定して取り組んできました。その結果、担い手数が増加した事や肥料・農薬の予約率向上で農家のコスト低減に寄与することができました。また、財務内容の健全化に関しては、自己資本比率・不良債権比率が大きく改善しました。今年度から第3次自己改革工程表を3ヵ年目標で策定し、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の実現に向け、役職員一丸となって取り組みます。

自己改革に終わりはなく、変わりゆく時代と環境に対応できる組織であり続けるために着実に歩みを進めてまいります。



労力の削減ができる肥料散布機の貸し出しをしています



食卓に並ぶ農産物の収穫や流通について親子で学ぶバスツアーを開催しました



松前町でははだか麦の栽培が盛んです

重点実施事項

1. 将来を見据えた農業者の育成と支援の継続

- 【取組事項】
- 多様な担い手と新規就農者の育成と確保を行う。
 - 主要品目における新規栽培者の募集と既存栽培者の規模拡大を進める。
 - 農作業支援の拡大や法人等に対する経営支援の強化を図る。

2023年度	2024年度	2025年度
地域別生産者数 ・都市部 922人 ・平野部 1,537人 ・島しょ部 243人 ・中山間部 730人	地域別生産者数 ・都市部 922人 ・平野部 1,537人 ・島しょ部 243人 ・中山間部 730人	地域別生産者数 ・都市部 922人 ・平野部 1,537人 ・島しょ部 243人 ・中山間部 730人
小規模農家や兼業農家を含む多様な担い手確保するため、農業塾の再開を計画する	農業塾を再開し、農業者の確保に取り組む	農業塾を開催し、農業者の確保に取り組む
地域や農家の情報をもとに、新規就農者や新規栽培者を掘り起こし、栽培を推進する	地域や農家の情報をもとに、新規就農者や新規栽培者を掘り起こし、栽培を推進する	地域や農家の情報をもとに、新規就農者や新規栽培者を掘り起こし、栽培を推進する
マルチャー作業支援とヘリ・ドローン防除を継続	マルチャー作業支援とヘリ・ドローン防除を継続	マルチャー作業支援とヘリ・ドローン防除を継続
農業者の労働力不足解消の手段として、生産部会を中心に農福連携をすすめる	農業者の労働力不足解消の手段として、生産部会を中心に農福連携をすすめる	農業者の労働力不足解消の手段として、生産部会を中心に農福連携をすすめる

2. 安定した農業所得確保への取り組み強化

- 【取組事項】
- 篤農家や営農指導員の的確で迅速な指導により、農家所得を増大させる。
 - 新たな設備整備構想への参加で出荷経費削減を目指すとともに、市場との連携により販売を強化する。
 - 農畜産物の販売高を維持する。

2023年度	2024年度	2025年度
・「農の匠」による栽培技術の伝承 ・出向く営農指導の継続とブロック制による職員の協力体制の強化	・「農の匠」による栽培技術の伝承 ・出向く営農指導の継続とブロック制による職員の協力体制の強化	・「農の匠」による栽培技術の伝承 ・出向く営農指導の継続とブロック制による職員の協力体制の強化
・JA域を超えた集出荷施設整備構想への参加 ・市場関係者との連携強化により、情勢に即応した有利販売の実施	・JA域を超えた集出荷施設整備構想の具体化 ・市場関係者との連携強化により、情勢に即応した有利販売の実施	・JA域を超えた集出荷施設整備構想の具体化 ・市場関係者との連携強化により、情勢に即応した有利販売の実施
農産物販売高 24億7千万円 うち 受託取扱高 16億2千万円 独自米 5億4千万円 産直市 3億1千万円	農産物販売高 24億7千万円 うち 受託取扱高 16億2千万円 独自米 5億4千万円 産直市 3億1千万円	農産物販売高 24億7千万円 うち 受託取扱高 16億2千万円 独自米 5億4千万円 産直市 3億1千万円

3. 農作物の産地振興

- 【取組事項】
- 地域特性を活かした基幹作物の面積維持・拡大と産地づくりを行う。
 - 社会情勢に対応した栽培技術の導入と農家への普及を図る。
 - 産地振興の基礎となる高品質な苗を安定的に供給する。

2023年度	2024年度	2025年度
地域別生産面積 ・都市部 154ha ・平野部 907ha ・島しょ部 116ha ・中山間部 326ha	地域別生産面積 ・都市部 154ha ・平野部 907ha ・島しょ部 116ha ・中山間部 326ha	地域別生産面積 ・都市部 154ha ・平野部 907ha ・島しょ部 116ha ・中山間部 326ha
化学肥料を削減した栽培技術の導入による生産コスト低減	化学肥料を削減した栽培技術の普及による生産コスト低減	化学肥料を削減した栽培技術の普及による生産コスト低減
高品質な移植苗・定植苗を安定的に供給する	高品質な移植苗・定植苗を安定的に供給する	高品質な移植苗・定植苗を安定的に供給する

4. 農家の生産資材コスト低減への支援

- 【取組事項】
- JAと生産部会組織の連携により生産資材の予約率を向上させる。
 - 予約肥料・農薬の取引分を拡大させる。
 - 購買事業の効率化を図り、生産資材の訪問推進により予約率を向上させる

2023年度	2024年度	2025年度
肥料・農薬予約率 72%	肥料・農薬予約率 73%	肥料・農薬予約率 74%
肥料・農薬高騰支援の予約引取引きの継続と生産出荷資材の支援検討	肥料の銘柄集約と早期仕入による生産コストの低減	肥料の銘柄集約と早期仕入による生産コストの低減
肥料の銘柄集約と早期仕入による生産コストの低減		
AI事務機器の導入で効率化を図り、購買担当者の農家訪問を実施	AI事務機器の導入で効率化を図り、購買担当者の農家訪問を実施	AI事務機器の導入で効率化を図り、購買担当者の農家訪問を実施

5. 地域とのつながりを強化

- 【取組事項】
- JAと地域住民、農家と消費者とのつながりを深める広報活動を行う。
 - 若年世代にJAに興味を持ってもらうためのデジタルコンテンツへの対応を進める。
 - 移動金融店舗車・移動販売車の定期運行を継続する。

2023年度	2024年度	2025年度
正・准組合員、JAをつなげる広報誌づくりと月1回以上のプレスリリースによりJAの取組みを伝える	正・准組合員、JAをつなげる広報誌づくりと月1回以上のプレスリリースによりJAの取組みを伝える	正・准組合員、JAをつなげる広報誌づくりと月1回以上のプレスリリースによりJAの取組みを伝える
動画配信に向けた広報活動を試行	動画配信でタイムリーな情報発信を開始	視聴者からの情報も取り入れたタイムリーな動画配信
移動金融店舗車・移動販売車の定期運行継続	移動金融店舗車・移動販売車の定期運行継続	移動金融店舗車・移動販売車の定期運行継続



展示していた満開のバラ



毎年5月ごろ石井支所で開催しています

バラの香りで
癒されるね



石井 女性部がバラのおもてなし

JA松山市女性部石井支部は5月初旬の3日間、支所ロビーを色鮮やかに飾りつけるバラ展を開き、訪れた人をもてなした。今年は、部員12人が20点出品した。

当支部は、20年以上バラを栽培し、展示会を開催している。今年は、雨風の影響を大きく受け、例年よりも花卉が小さい出来となった。部員の名田博美さん(75)は「来店者にバラの香りや色を楽しんでもらえてうれしい。来年はもっときれいな花を咲かせたい」と笑顔で話した。



指導する大野さん(右)と就農1年目の岡本さん

匠の指導は若手が
大きく成長する
きっかけになるね！



岡本さんが育てる健康なトマト苗

久万高原トマト部会 匠の技術を次代へ継承

JA松山市久万高原トマト部会は4月下旬、同部会の篤農家が栽培経験の短い生産者を対象に知識や技術を伝える「農の匠」の今年度の活動を開始した。就農1～2年目の若手農家を重点的に指導し、収量増加につなげる。

同日、大野千代利さん(76)と中嶋豊さん(71)が、新規就農者4人のもとを訪れ、指導した。大野さんは「若手農家は研究熱心で積極的に質問してくることに驚いている。できる限りのアドバイスをして力になりたい」と話した。

就農1年目の岡本一弘さん(38)は「匠の指導を参考に収量をあげて、安定した収入につなげたい」と話した。

4 質の高い教育を
みんなに





園児に収穫の仕方を教える門屋さん



講義を行う林さん



真っ赤なイチゴ採れたよ〜!

いい思い出になったね!



久枝 地元の園児らがイチゴ収穫体験

4 質の高い教育を
みんなに



松山市高木町の門屋貴大さん(25)は5月下旬、久枝幼稚園の園児51名をハウスに招待し、イチゴの収穫体験を開いた。農家の仕事を知らせようと、祖父の孝美さんが始めた活動を引き継ぎ、収穫体験は今年で21年目となる。

当日は同園年長クラスの子どもたちが門屋さんからの注意事項を聞いた後、「これが大きいよ」「甘いね」と話しながら好きな形のイチゴを摘み取った。

門屋さんは「自分の幼稚園の近くでイチゴが作られていることや、採れたてのイチゴのおいしさを知ってもらえたらうれしい」と笑顔で話した。



耳をかたむける職員ら

職員の育成に
力を入れるよう!!



JA 次代の組織をつくる職員を育成!

4 質の高い教育を
みんなに



JA松山市は5月中旬、当JAを担う管理職のマネジメント能力の向上を目的に「次期幹部層育成プログラム」を開始した。各部や支所から30代~50代の20人が出席し、年間4回開催する予定だ。

株式会社ビジネスコンサルタントの林秀行さんらを招き、職員らは、組織の成果を上げるために必要なスキルや能力についての研修を受けた。また、個人や組織の力を引き出す方法を学び、当JAが抱える課題点を班ごとに共有し、解決策を論じた。

林さんは「研修を通して、問題の発見と解決する力を習得し、周囲へ影響力を与える人材になってほしい」と話した。

年度 日本農業新聞全国



日本農業新聞の普及・活用や教育広報活動に顕著な成績を収めた6JAが岸田文雄首相らと記念撮影しました



賞状を受け取る阿部和孝組合長

日本農業新聞は
農家にとって大切な
情報がたくさんだね!!



JA 「日本農業新聞優秀賞」受賞!

4 質の高い教育を
みんなに



JA松山市は5月中旬、東京都で開かれた2023年度日本農業新聞全国大会で、日本農業新聞の普及活用に優秀な成績を収め、営農・生活・文化の向上に寄与したとして「日本農業新聞優秀賞」を受賞した。

当JAは2020年度から2022年度の3年間で購読部数を増やし、教育広報活動に貢献した。役職員や農家組合員が購読している。

本大会は岸田文雄首相らが参加し、今後の食料安全保障についての政策提案などが発表された。



重川さんのほ場でサンプルの収穫をする指導員

徹底した管理で食卓に
安心・安全を届けて
いるんだね!



検査には熟す前の実を使用します

JA 消費者に安心・安全を届ける!

12 つくる責任
つかう責任



JA松山市は5月中旬、エダマメの本格的な出荷の前に、国が定める農薬安全基準に沿って、安全性が証明された作物を消費者に届けようと残留農薬検査を実施した。

当JAの営農指導員が任意に、サンプルとなるエダマメ1kgを収穫し、直ちに農林水産研究所に検査を依頼。2、3日後に結果が通達され、農薬安全基準を満たしていれば、全部会員が出荷を開始する。今期は部会員の重川鐵さん(77)のほ場で収穫を実施。重川さんは「消費者に安心・安全を訴えることができる証拠になれば」と話した。

当JAは、他にも全部会の生産者に対し、農薬の使用日や回数を記入した管理台帳の提出なども徹底している。

7月 やさいの時間



夏野菜の梅雨明けからの管理

気象庁の3か月予報によると、今年の梅雨入りは平年並み、梅雨明けは平年並みか遅めの予想となっています。四国地方の梅雨明けは例年では7月中旬ごろです。梅雨明け後は急激に高温・乾燥の環境となるため、生理障害が発生したり生育不良が起きることがあります。高温に対する対策や、土壌水分を急激に変化させないように管理をしましょう。

ポイント

1 上手な灌水

晴天が続くと急激に土壌水分が失われるので、作物の様子や土壌の乾きを観察し、灌水しましょう。一度に多量に灌水するのではなく、毎日作物に必要な量を灌水します。灌水する時間帯は、早朝か気温が下がる夕方以降に行いましょう。日中に水を溜めるような灌水は、昼以降

ポイント

2 地温を上げない管理

キュウリ・トマト・ナス・ピーマンの地温の適温は20℃前後です。黒マルチを敷いている場合は、梅雨明け後は地温が高くなりすぎるので畝のマルチの上にわらなどを敷くか、白黒マルチ（上が白）を敷いて地温の上昇を防ぎましょう。

ピーマン……………2～3℃

※ナスの灌水水量に幅があるのは根が乾燥にも強いので、収量を上げるには灌水量を多くします。

ナス……………1.5～3℃

キュウリ……………2.5～3℃

トマト・ミニトマト……………1～2℃

作物が大きくなってからの一日あたりの灌水水量の目安（1株当り）

の気温の上昇で水温が上がるこ
とや、過湿によって根が傷むこ
とがあるので避けます。



Q 梅雨明けの後、気を付けることは？

A 土の水分を急激に変化させないこと！
また、地温が上がりにくいように対策を！

※畝間の溝にも根は伸びてい
ますので、畝間にもわらなどを
敷くと土壌の乾燥から根を守
り、地温も上がりくいのため
生育が安定します。



銀マルチ（裏が黒）を張って栽培している松山長茄子のほ場



黒マルチの上に白マルチを張る



黒マルチの上に敷きわらをする

お天気カレンダー

夏至の太陽

気象予報士 檜山 靖洋

夏至の頃の晴れた日、強い日差しにうなだれて歩いていると、地面に落ちた影がとても短いことを実感します。夏至の太陽は、一年で最も高くなります。夏至の正午ごろ、沖縄では地面と太陽の角度が90度近くになり、太陽はほぼ真上にあります。

6月下旬の夏至の頃に梅雨の中休みが続いたり、早く梅雨が明けたりするときは、強烈な日射による熱中症に注意が必要です。



四国地方の3ヶ月予報

6月

気温：高い 降水量：平均並
平年と同様に、曇りや雨の日が多いでしょう。

7月

気温：平年並か高い 降水量：高い
期間の前半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。期間の後半は、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

8月

気温：平年並か高い 降水量：平年並
平年と同様に晴れの日が多いでしょう。気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

キュウリ

摘葉・摘果

展開後40日以上経過した葉を中心に摘葉します。奇形果などは小さいうちに摘果し、樹勢を維持させましょう。

病害虫防除

アブラムシ

・アルバリン顆粒水溶剤 2000～3000倍
(収穫前日まで2回以内)

・ウララDF 2000～4000倍
(収穫前日まで3回以内)

炭疽病・べと病

・ダコニール1000 1000倍
(収穫前日まで12回以内)

・ジマンダイセン水和剤 6000倍
(収穫前日まで3回以内)



炭疽病

写真提供…JA全農えひめ

うどんこ病

・アフエットフロアブル 2000倍
(収穫前日まで3回以内)



うどんこ病

写真提供…JA全農えひめ

トマト

整枝・芽かき・摘心・摘葉・摘果

葉の付け根から出るわき目はかぎ取り、主枝1本仕立てにします。主枝は支柱の高さになれば花房の上の葉2枚を残し摘心します。収穫の終わった花房より下は摘葉します。1花房で3～4個の着果を目標に樹勢によって摘果します。

病害虫防除

オオタバコガ

・コテツフロアブル 2000倍
(収穫前日まで3回以内)
ハダニ類にも効果あり

疫病

・アフアーム乳剤 2000倍
(収穫前日まで5回以内)

・ランマンフロアブル 1000～2000倍
(収穫前日まで4回以内)

・プロポーズ顆粒水和剤 1000～1500倍
(収穫前日まで3回以内)



疫病

写真提供…JA全農えひめ

その他の管理

トマトトーンを花に噴霧して着果を促します。
(気温20℃以上100倍)



トマトトーンは頂芽にかかると葉が萎縮するので花房のみに処理します

ピーマン

整枝・摘果

枝が込み合ってくると着色不良や病害虫が発生しやすくなるので枝の間引きをし、株の中に光線を入れ風通しを良くします。樹勢維持のため、奇形果や病害虫の被害果は早めに摘果をします。

病害虫防除

アブラムシ

・アルバリン顆粒水溶剤 3000倍
(収穫前日まで2回以内)

・ウララDF 2000～4000倍
(収穫前日まで2回以内)

オオタバコガ

・コテツフロアブル 2000倍
(収穫前日まで2回以内)

・アフアーム乳剤 2000倍
(収穫前日まで2回以内)



オオタバコガ

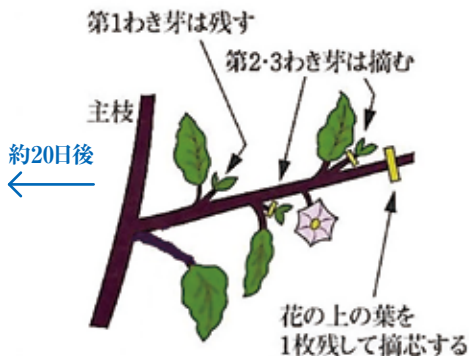


赤字の農薬は、毒物劇物農薬に該当します。
ご購入には印鑑が必要ですのでご持参ください。

収穫時に一芽で切り返し



側枝の摘芯とわき芽の除去



側枝の切り返し剪定

側枝は着蕾した上の葉1枚を残して摘芯し、更に収穫と同時に下1葉を残して剪定します。



疫病

・ランマンフロアブル

1000～2000倍

(収穫前日まで4回以内)

病害虫防除

褐色腐敗病

・ランマンフロアブル 2000倍

(収穫前日まで4回以内)

・プロポーズ顆粒水和剤

1000倍

(収穫前日まで4回以内)



褐色腐敗病

うどんこ病・灰色かび病・すずかび病

・アフエットフロアブル 2000倍

(収穫前日まで3回以内)

オオタバコガ・ハダニ類・チャ

ノホコリダニ・アザミウマ類

・コテツフロアブル 2000倍

(収穫前日まで4回以内)



チャノホコリダニ

写真提供…JA全農えひめ

アブラムシ類・コナジラミ類・アザミウマ類・カメムシ類

・アルバリン顆粒水溶剤 2000倍

(収穫前日まで2回以内)

その他の管理

トマトトーン50倍を花に噴霧して着果を促します。



トマトトーンは頂芽にかかる
と葉が萎縮するので花房の
みに処理します

春ジャガイモ

収穫

茎葉が半分以上枯れたころ、土が乾燥している晴天の日に収穫します。水分が多い時に掘り取ると腐りやすいので注意し、掘り起こし後は半日程度天日で乾かしてから拾い集めます。

ジャガイモガの防除

芋を貯蔵していたら、表面に糞が出て中に蛾の幼虫がいた場合



ジャガイモガ幼虫



ジャガイモガの糞

合は、ジャガイモガの被害です。被害を防止する方法は、収穫前に薬剤で防除を行う事と、掘り取った後産卵されないように管理しましょう。

モスピラン顆粒水溶剤

2000倍

(収穫7日前まで3回以内)

サトイモ

病害虫防除

ハスモンヨトウ・ハダニ類

・コテツフロアブル 2000倍

(収穫7日前まで2回以内)



ハスモンヨトウ



ハダニ

写真提供…JA全農えひめ

7

月

おこめの時間



水管理

田植後から中干までは浅水の
間断灌水を行います。

中干し

田植後30日ほど経ち、目標
茎数の70～80%になったら中干
しを始め、小ヒビが入る程度に
干し上げます。省力施肥や疎植
栽培をする場合には、強い中干
しを避けます。

品種ごとの目標茎数

品 種	目標茎数
コシヒカリ	22本
あきたこまち	24本
にこまる ヒノヒカリ	28～32本

出穂期

水が必要な時期ですが、水を
溜めたままにせず間断灌水とし、
土壌水分を80%に保ちます。



トビイロウンカによる坪枯



紋枯病

病害虫防除(下表)(10a当り)

農薬は使用基準を守り、他の
作物やほ場外への飛散と、河川
への流出を防ぎましょう。

病害虫防除

(10a当たり)

	対象病害虫	農薬名	散布量	使用時期	使用回数
応急防除	ツマグロヨコバイ ウンカ類・コブノメイガ	パダンバッサ粒剤	4kg	収穫30日前まで	5回以内
出穂期 防除	いもち病・紋枯病・ ウンカ類 ツマグロヨコバイ・ コブノメイガ ニカメイチュウ・ カメムシ類	ワイドナーエース粉剤DL	4kg	収穫14日前まで	2回以内
		ブラシンフロアブル 1,000倍 + アブロードロムダンモンカットエア 750倍 + アルバリン顆粒水溶剤 2,000倍	150ℓ	収穫7日前まで	2回以内
				収穫21日前まで	2回以内
				収穫7日前まで	3回以内



Q「中干し」って何？

A 田の水を抜いて、小ひびが入るぐらい土を乾かす
こと！土中に酸素を供給して根の活力を高めて過剰
な分げつを抑え、刈取り時の作業性を高めます！

中間追肥と穂肥 品種ごとの施肥時期と施用量の目安

(10a当たり)

	品種	田植日	中間肥料		穂肥(基肥が一発肥料は施用しない)		出穂の 目安
			施肥時期	PKミックス	施肥時期	NK化成32号	
早生	あきたこまち	6月4日	6月25日～7月5日	20kg	7月15日～7月20日	15～25kg	8月2日
	てんたかく		6月25日～7月5日	20～30kg	7月15日～7月20日	25～30kg	8月3日
	コシヒカリ		7月1日～7月10日	20～30kg	7月25日～7月30日	10～15kg	8月9日
中生	きぬむすめ	6月18日	7月5日～7月14日	20kg	7月30日頃	30kg	8月12日
	ヒノヒカリ		—	—	8月10日頃	20～25kg	8月28日
	にこまる		—	—	8月12日頃	30kg	9月1日
モチ	クレナイモチ		—	—	8月7日頃	20kg	8月27日



赤字の農業は、毒物劇物農業に該当します。
ご購入には印鑑が必要ですのでご持参ください。

7月

かんきつの時間



摘果

温州ミカンや、伊予柑など中晩柑の摘果をします。

摘果をしないと、養分を奪い合って果実が大きくならなくなったり、翌年果実がつきにくくなることもあります。摘果で樹の負担を軽くし、大きさと味のそろった果実を収穫できるようにします。

※注意すること

上向き果、キズ果、日焼け果、奇形果を中心に摘果します。
※果実1個に対する葉っぱの数(目安)

・温州ミカン：25～30枚に1個
・中晩柑：80～100枚に1個

病害虫防除

カイガラムシ類

7月中旬頃

・コルト顆粒水和剤 3000倍

(収穫前日まで3回以内)

ゴマダラカミキリ幼虫(応急)

7月中下旬

・モスピラン顆粒水溶剤 400倍

(かんきつ…収穫14日前まで3回以内)

※株元に散布します。

ミカンサビダニ

・ダニカット乳剤20 1000倍

(かんきつへみかん除く)は収穫60日前まで1回以内、みかんは収穫14日前まで1回以内)
ダニカット乳剤20はハダニには効果が期待できません。

黒点病

・エムダイファア水和剤 600倍

(かんきつへみかん除く)は収穫90日前まで2回以内、みかんは収穫60日前まで2回以内)

・アビオンE

1000倍を混用

※前回の散布から積算降雨量が200mmになるか、25日経過すれば散布します。



ミカンサビダニ



コナカイガラムシ

写真提供…JA全農えひめ

堀江給油所

閉店のお知らせ

5月末をもちまして堀江給油所は閉店いたしました。

長らくのご利用誠にありがとうございました。



こんにゃ?花が咲きました!



久万高原町のHさんが、「畑でとったこんにゃくイモを倉庫で保管していたところ花が咲いた」と久万支所に持ってきてくれました♪
濃紫色の縦長の花が咲いていました!

はじめて見たー!



なるほど!
農政のおはなし

第15回

食料・農業・農村基本法のポイント

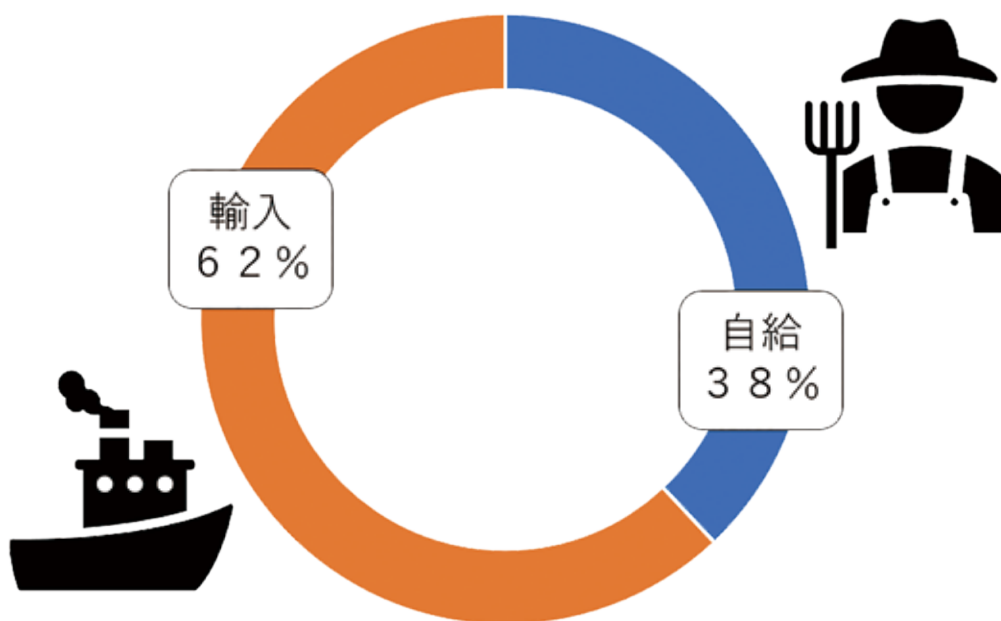
〔提供：JA愛媛中央会〕

「食料の輸入リスク」

「食料・農業・農村基本法」の基本理念の一つに、「食料の安定供給の確保」が掲げられています。基本法では、食料の安定供給は「国内の農業生産の増大」を基本とし、「輸入」と「備蓄」を組み合わせることで確保すると提起しています。また政府が定めている「食料・農業・農村基本計画」には、食料自給率の目標値が定められており、令和12年までに食料自給率45%（カロリーベースの総合食料自給率）を掲げていますが、現状では38%（令和3年度）に留まっています。これは、国内の食料供給の約6割を輸入に頼っているということでもあります。今回は、基本法で食料供給の安定のための主要な手段である輸入のリスクについてポイントを解説します。

1. 日本の食料自給率

食料自給率とは、国内に供給した食料のうち国内で生産した割合のことです。日本の食料自給率は、食生活の変化により、米の需要が減少する一方で、輸入に頼っている牛肉などの畜産物や食用油などの油脂類の消費が増大し、令和3年度の食料自給率は38%に留まっています。これは、先進国の中で最低の水準となっています。



2. 食料の輸入リスク

近年、ウクライナ情勢に伴う世界的な小麦・大豆などの食料用穀物や肥料・飼料といった原材料価格の高騰など“不測”の事態の影響により、これらの多くを輸入に頼る日本は大きな影響を受けています。食料自給率が低い状態で、突然、輸入が止まってしまうと、私たちの食べるものがなくなってしまう恐れがあります。

輸入リスクの上昇をはじめとしたあらゆる環境の変化に対応していくためには、“平時”つまり“普段”からの食料安全保障の強化を改正法の目的に明記し、実践することが必要です。



パンパンに実が入った枝豆をつくろう!

枝豆は発芽適温が25～30℃、生育適温が20～25℃ですので、これから種を播く方もいらっしゃるでしょう。今の時期から枝豆を作ると、「実が入らない」とか「カメムシにやられて苦い」など失敗することもありますので、注意点をまとめてみました。産直市や自家用なら「湯上り娘」がおすすめです。また、7月初めに播種する「丹波種黒大豆」の枝豆は、自分で栽培してこそ味わえる品種です。

圃場準備・施肥

- ・灌水や排水がいつでもできる圃場を選びましょう。
- ・枝豆は肥料をあまり必要としない作物で野菜跡では、原則元肥も追肥も必要ありません。肥料が多いと、葉や茎ばかりが大きく育つ「ツルボケ」を発生することがあるので注意しましょう。

播種

- ・播種の深さの目安は指の第一関節くらいの深さです。水をやりすぎると種が腐り発芽しないので注意します。
- ・直播きの場合は鳥害を受けやすいので黒寒冷紗や防風ネットなどを活用し、本葉2～2.5枚になったら除去します。その後はカラス対策としてテグスが有効ですが、ハトには効かない場合があります。
- ・直播きで心配な鳥害や生育ムラは、移植することで抑えることができます。本葉が2～2.5枚になったら移植します。



カラスにもハトにも有効な防鳥ネット

開花期以後収穫までの管理

- ・サヤが付き始めるころに、カメムシにやられると実が入りません。また、実が太ってからカメムシにやられると味が苦くなります。この時期に植える枝豆は、サヤが見え始めたら農薬を必ず散布しましょう。

時期	対象害虫名	農薬名	倍率	使用時期・回数
開花期～	カメムシ類・ハムシ類	トレボン乳剤	1000倍	収穫14日前2回以内
莢肥大期～	カメムシ類	アルバリン顆粒水溶剤	2000倍	収穫7日前2回以内



実がしっかり入った枝豆

- ・開花期以降は水が多く必要になります。乾燥するとサヤに実が入らなかったり収量が減少してしまうので畦間に湿り気があるように灌水します。また、降雨が続く畦間に水が溜まった状態だと根腐れが発生するので、排水ができるようにしておきましょう。



コンクリート畦畔がまだなく、土畔だったころは、畔塗りをした畔に枝豆を植えていて「あぜまめ」と呼んでいたみたいです。畔がほどよく水分を含むことを利用していたのでしょう。そのくらい枝豆は水管理で実の入り方が左右されるのです。



I



農

Vo.6

**両親から受け継いだ久万茶
共同作業で守り続ける**

早期退職し 農林業を受け継ぐ

久万高原町日野浦の藤社地区で久万茶5aを栽培する川崎良雄さん(76)は、50歳の時に建設会社を早期退職し、父から農林業を受け継ぎました。両親は久万茶栽培と林業をしていましたが、川崎さんはそれに加え、水稲25aとピーマン20aを栽培しています。川崎さんは「会社員時代は夜中に仕事をするのも多く、休みがなかった。農業も毎日作業があるけど、自分の体力や年齢に合わせて栽培面積を調節できるのは魅力」と語ります。

共同作業で久万茶を守る

藤社地区のお茶農家は、60〜90歳と高齢化が進んでいます。が、「久万茶を絶やしたくない」という共通の思いがあり、川崎さんを含む5、6軒のお茶農家は、体力と人員が必要な収穫を共同で作業することで栽培を続けられています。機械で刈り取る係、袋を持つ係などを決め、5、6人が集まり3日ほどかけて収穫し、美川茶業センターへ出荷しています。

茶葉は霜で焼けるため収穫量が天候に左右されますが、今年は春になつてから霜が降りることなく、暖かい日が続いたため順調に生育し「では上々」と川崎さんは満足しています。

自慢の久万茶を 味わってほしい

川崎さんは「涼しくて、朝霧がきれいに出来る地域はおいしいお茶ができる」と言われている。久万高原町はお茶の栽培にぴったり」と話します。50年以上の歴史がある台木を守り続けるため、値段が上がった化成肥料の代わりに鶏ふんの量を増やすなどして、手入れをしながら品質の良い茶葉が採れるよう努めています。今年のお盆には3年ぶりに遠方の家族が帰ってくる予定で「自慢の久万茶で迎えたい」と笑顔を見せます。

ぜひおいしい一番茶を飲んでみて！



久万高原町日野浦
川崎 良雄さん(76)

栽培歴 26年目
栽培面積 久万茶5a・
水稲25a・ピーマン20a



みんなで俳句

特選

明日こそは鳥より先にさくらんぼ 窪田孝子

さくらんぼが色付き始め、もう少し待とうと楽しみにしていると野鳥がさつさつと啄んでしまうのでようし明日こそは私が先に、と意気込んでいるところ。

秀句

地球儀も地球も回るのどかさに 山本弥生
父方の母方の墓所雲雀鳴く 忽那十畝子
走り梅雨木々に樹液の上る音 小田虎賢
春探し仕切り直しのスケジュール 今井陽奈子
病む妻の旅待ち望む飛花落花 深津健次

入選

石垣があれば彩る芝桜 武智としや
水張りし棚田に命宿りけり 西野周次
初つばめ疲れも見せず飛び回り 堀部義嗣
野菜より伸び満開の仏の座 伊藤恵美子
山が萌え囀ひびく野良仕事 有光久計
白日傘開きし妻の薄化粧 かつたろー
少年の志真直ぐに麦青む 中野サヨ子
夕桜ころろ一つにとつと咲く 坂井傑
七折の見ごろの梅に杖を突き 村井美重子
宵越しの議論に春の朝戸風 関谷昌子
春の雨大地の眠り揺り起こす 兼井孝雄
花桃の源平咲きの白がちに 團上笑子
花筏長靴履く子の歩く道 石丸久子
紅白の斑入りの椿庭に愛づ 森陽一

愛媛若葉主宰 高岡周子選

白梅を残し更地の母の家 関根ちよみ
金太郎乗せ悠然と鯉のぼり 小田龍聖
麦の秋文字書くやうに風うねり 小田和子
野路を行く道案内の四十雀 中平初代
蒨葎草たくさん食べて元氣出せ 芳野志朗
桜葉散り敷く回り避けて行き 工藤まゆみ
老鶯の良く鳴くゴルフ日和なる 麓勝子
菜の花の一景胸に刻みこみ 吉田直哉
幼子の歩む一步にたんぽぽ黄 佐川スミエ
紫蘭切るその花言葉知りてより 岸明美
薫風やフィナンシェ並ぶ医院跡 竹浦かける
薔薇の棘水に沈めて活けにけり 木幡忠文
田越しの遅れ気になる肩痛め 東岡敏枝
新玉葱吊るさま幼見つめをり 矢野重子
大風の揚がる河原を駆け回り 久米隆
燕来る居間の硝子戸すれすれに 石井宏

一步一步

原句 初恋はレモンのような味だった
添削例 初恋は檸檬の甘さ酸っぱさに
原句 鎌の音響く谷あい夏きざす
添削例 谷間に鎌音ひびき夏きざす
原句 山茶花や花手水にてお出迎え
添削例 山茶花の色取り取りの花手水

※応募いただいた俳句は、添削や削除をすることがあります。ご了承ください。
※楷書で「あきつ」と記入ください。

各支所出張所に「俳句ポスト」を設置しています。
ハガキの場合ははふれあい部まで。締め日は毎月10日

応募方法

●Eメールでのご応募
daichi@ja-matsuyama.or.jp



締切**6月30日(金)**消印有効
※応募は一人1枚限り有効

●ハガキでのご応募

〒790-0003

JA松山市
ふれあい部

①クイズの答え
②本誌の意見・身近な話題・俳句・その他何でも
③氏名・年齢・住所・電話番号

※①～③全て記入

応募者の中から**5**人に

表紙と同じ農作物をプレゼント!

今月はエダマメ



※写真はイメージです。
生育状況などにより、農産物が準備できない場合は、(株)松山生協の商品券をお送りします。ご了承ください。
※当選者発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。
【個人情報の取り扱いについて】
応募の際に、ご記入いただいた個人情報は、プレゼントの発送のためだけに使います。本人の同意を得ずに第三者に開示することはありません。

応募総数 **76**通 ありがとうございます。

プレゼント&アンケート

クイズに
答えて

野菜のふしぎクイズ

「王様の野菜」とも呼ばれる夏の野菜はどれでしょう。

- 1 ピーマン
- 2 モロヘイヤ
- 3 トマト



ヒント

独特のぬめりがあって栄養豊富だよ!

5月号の答え「②おはぐろ(黒い部分)の反対部分に浅く切り込みを入れて茹でる」





いんぎま旬

枝豆のチーズ春巻き

今月の表紙は...



©よい食P



材料(約10個分)

エネルギー 133kcal/個

枝豆(正味).....180g
スライスチーズ.....5枚
薄切りハム.....10枚
春巻きの皮.....10枚
薄力粉.....少々
水.....少々
こめ油.....適宜

作り方

- ① 枝豆はゆでて、さやから出しておく。
- ② スライスチーズ、薄切りハムは半分に切っておく
- ③ 薄力粉と水を混ぜ合わせておく。
- ④ 春巻きの皮を置き、手前にハムを置く。その上に枝豆を置き、チーズを乗せて、最後にハムを乗せる。
- ⑤ 手前、左右に巻いていき、最後に③でのり付けする。巻き終わりを下にして、しばらく落ち着かせる。
- ⑥ フライパンに薄く油を引き、⑤を両面焼く。

チーズとハムの塩味で
味付けなしでもOK。おつまみにも、お弁当のおかずにもなります!



後藤 昌栄さん

JA愛媛厚生連 管理栄養士

理事会だより

インフォメーション

2023年5月26日に全議案が承認されました。

- 1、2022年度決算の承認について
- 2、2022年度剰余金処分案の承認について
- 3、2022年度決算書類及び部門別損益計算書の承認について
- 4、会計監査人再任の報告と監査報酬額に関する決定について
- 5、借入金最高限度額決定について
- 6、組合員及び組合員以外の者に対する貸付金の利率の最高限度決定について
- 7、1組合員に対する信用の供与等の最高限度額決定について
- 8、組合員以外の者1人に対する信用の供与等の最高限度額決定について
- 9、同一人に対する信用の供与等の最高限度額決定について
- 10、第3次自己改革工程表の策定について
- 11、農産物検査業務規程の一部変更について
- 12、貸出金の承認について
- 13、2023年度通常総代会議長選出について
- 14、基金協会への増資について
- 15、減資について
- 16、子会社の2022年度事業報告書、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、及び剰余金処分案承認について(監査役の監査報告)
- 17、子会社の2023年度事業計画設定について

※ふたりごとは紙面の都合上おやすみです

家族のものがたり



(左から)渡部 幸重さん、千秋さん、菅 千夏さん(次女)、正樹さん、
倅太郎くん、心音ちゃん、大元 秀徳さん、千春さん(長女)

両親へ

いつも美味しいお米と野菜を作ってくれてありがとう。

私たちそして孫の心音と倅太郎は、作ってくれた農作物ですくすく元気に育ちました。

二人は年齢を重ね、体力も減ってきているけれど、農業を頑張ってる姿、応援しています。

これからも健康には気をつけて長生きしてください。

千春、千夏より

